

平成24年度村政懇談会
【地区自治会質問・要望書兼回答書】

平成24年7月13日

【地区自治会名】	石神地区自治会
【質問事項（題目）】	3.11 災害復旧箇所の再整備について
【質問要旨（内容）】	<p>1. 外宿二区集会所～河川敷区間の道路</p> <p>災害復旧工事でマンホール蓋のかさ上げ工事を実施していただいたが、再びマンホール蓋と路面の段差が大きくなり、交通に危険な状況となっている。特に通勤等で交通量が多い道路であることから、早急に再度の復旧工事を実施してもらいたい。</p>
【回答】建設水道部 みちづくり課	<p>マンホールと路面の段差につきましては、外宿二区集会所から河川敷区間にある交差点は6月下旬にマンホールの段差調整を行い舗装が終わりました。また、併せて交差点中央部にあるソーラーも修繕いたしました。</p> <p>集会所の坂を下ったところのマンホールにつきましては、県的那珂久慈流域下水道事務所のマンホールと村の下水道マンホールがあり、仮復旧しておりますが、どちら側を通っても段差を生じるところであります。</p> <p>県のマンホールはかさ上げ調整で済みますが、村のマンホールは管路も被災しており、7月上旬から本復旧工事を進めているところです。</p> <p>7月中は車両交通止めになりますが、一日も早い復旧を進めてまいりますので、ご迷惑をおかけいたしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>
【質問事項（題目）】	海拔の低い地区への災害情報の早期伝達と避難道路の確保整備について
【質問要旨（内容）】	<p>1. 災害情報の受信手段の改善</p> <p>(1) 戸別受信機の活用のため、電池取替・ボリューム調整などメンテナンスを目的として、各戸へ放送及び広報チラシによる啓発活動をお願いしたい。</p> <p>(2) 海拔の低い地区（竹瓦地区・坏地区）への情報を早く・的確に出してほしい。</p> <p>2. 避難道路の確保</p> <p>竹瓦地区・坏地区～石神小学校～石神コミセンのルートの道路をかさ上げて、安全な避難が出来るようにしてもらいたい。</p> <p>3. 自主防災体制の具体的な在り方</p> <p>現在地区の体制作りを進めているところであるが、基幹避難所と各自治会の避難所（自治集会所）の陣容が同一人と成らざるを得ず、人材不足に至り機動性を持った体制作りに苦慮している。基幹避難所での村職員のマネジメントも含めたフォロー体制を始めとして、体制作りのご指導をお願いしたい。</p>

【回答】 経済環境部 消防防災課

1. 災害情報の受信手段の改善

- (1) 村のホームページ上で、防災行政無線や戸別受信機について案内するとともに、9月の防災月間にあわせて、防災意識を醸成するために、年に1度の電池交換や清掃を促す内容を、広報紙に掲載し、啓発に努めてまいります。
- (2) 海拔の低い地区の街路灯やカーブミラー、全村の公共施設などに、海拔表示ステッカーを貼り付ける作業を6月下旬から取りかかっております。

2. 避難道路の確保

安全な避難ができるよう、災害に強い道づくりをめざし関係部署で検討していきます。

3. 自主防災体制の具体的な在り方

単位自治会が主体となる自主防災組織は、地域の方が避難所まで避難する間の支援・誘導など初動体制を受け持ちます。一方、地区全体で取り組む避難所運営に関しては、避難してきた方の支援や情報収集・発信、食料・物資の配付など生活支援が主となります。一人の方にそれぞれの役割が割り振られますが、活動時期の違いから、機動性を損なう可能性は少ないと考えています。

また、基幹避難所の運営に関して、村では以下のとおり支援します。

- ① 災害発生時、基幹避難所には数名の村職員が常駐して、避難所を運営する地域の方と協力して避難者支援に対応します。
- ② 地区ごとの特性やご意見を反映できるよう、「避難所運営マニュアル（仮称）」の案を今年中に各地区へご提示します。
- ③ 村では、地域のご要望に応じてまちづくり出前講座を実施しています。是非、要請いただき、自主防災組織の運営方法や避難ルートの机上訓練などについて、皆様でご協議いただければと考えています。

【質問事項（題目）】

通学道路の整備について

【質問要旨（内容）】

1. 外宿二区自治会集会所～小学校信号機（旧黒沢商店交差点）の区間この区間は、竹瓦橋を利用しての通勤車両の通行量が多く、かつ車幅が狭いため、毎朝の通学において児童の交通事故巻き込まれの危険性が高いことから、みちづくり課にて応急措置としてセンターラインの変更を計画しているところではあるが、本格改善措置として歩道とガードレールの設置をお願いしたい。（みちづくり課）
2. 外宿一区内の高速東海 SA 入口～6号国道素鷲神社口の区間この区間は、信号が無いため那珂市方面から日立方面への通勤のショートカットルートとなっていて、スピードを出した通勤車両の交通量が多く、児童の通学時間帯と合い、非常に危険な通学路となっている。そこで、道路整備となるとお金も時間も要すことから、この区間を「通学路優先道路」と設定していただき、交通事故発生防止を図っていただきたい。（消防防災課）

【回答】建設水道部 みちづくり課

1. 京都や大阪等で通学路や生活道路において、無謀運転等が原因と見られる悪質な交通事故が発生し、多くの方がお亡くなりになり、大きな問題となっております。

ご質問の石神小学校北側交差点から外宿二区自治会集会所の区間につきましては、これまでも地元自治会から危険な通学路のために歩道等設置要望がありました。用地買収等のご協力をいただけない限り今日に至っております。

この道は、通勤者の抜け道や生活道路として利用される村道であり、また、集会所側は登り・下り坂で、さらに急カーブのため視界が悪い交差点であります。

このため廣原自治会長さんから、再度、ご相談をいただき、みちづくり課は、歩行者が安全に歩行できる対策と車目線から見ると不自由と感じるようなみちづくり対策として、外側線見直し、路面表示、グリーン帯とカーラーコーン設置、警戒標識、道路に張り出した樹木等の伐採などの対策を7月中に実施する予定で進めております。

【回答】教育委員会 学校教育課，経済環境部 消防防災課

2. ご質問の外宿一区内の高速東海 SA 入口～6号国道素鷲神社口の区間を通学路優先道路に設定できないかということですが、歩行者と車両の通行を分けて、通学時の児童の安全を確保する手段として「スクールゾーン」の設定が考えられます。

しかし、その設定には、歩行者の通行実態、道路の構造、地域住民の意見、小学校を中心として半径500メートル以内であること等の条件を満たす必要があります。今回の場所はその条件を満たすことは難しいと考えております。

よって、スクールゾーンの設定ではなく、PTAや地域の意見を聞いたうえで、路面表示など車両運転者への注意喚起対策について、関係機関と協議を進めてまいります。